

7月の定例記者会見では、あいさつの中で第1四半期の活動報告を行いました。10月の記者会見では、令和5年度の施政方針で述べた内容のうち、主なものについて上半期の進捗状況を報告いたします。

1 直面する課題と取組の決意

(1) 未来を見据えた戦略プラン

- ① 未来羅針盤図（未来羅針盤課）……………P4
- ② 地域医療奥州市モデル（健康増進課）……………P5
- ③ メイプル再生（商業観光課）……………P6

(2) 新型コロナウイルス感染症への対応（健康増進課）……………P7

(3) 財政健全化の推進による財政基盤の確立（財政課）……………P8

2 重点施策や新たな施策

(1) 企業誘致とそれに伴う住環境整備（政策企画課）……………P9

(2) デジタル行政サービスの推進（行革デジタル戦略課）……………P10

1 直面する課題と取組の決意

(1) 未来を見据えた戦略プラン ①未来羅針盤図

定例記者会見資料 令和5年10月11日 政策企画部未来羅針盤課

1 現状と課題

奥州市の最も大きな課題は「人口減少」ですが、奥州市に魅力を感じ、将来に希望を抱くことができるまちづくりができれば、市民はこの地に住み続け、転入者が増加していきます。

自然や産業などの地域資源を活かしたまちづくりを進めるためには、これまでの手法を改め、市民や民間など多くのステークホルダーとの共創によるまちづくりへの転換が必要です。

複数の分野を横断的に束ね、幅広い視点で施策を検討し、中長期的なスパンで投資対効果の計算や定量的・客観的な評価を行い、計画的に各まちづくり施策を進めていくことが求められます。

2 施策の進捗状況

「奥州市未来羅針盤図」は、奥州市に魅力を感じ、将来に希望を抱き、住み続けたい、住みたいと思えるようなまちづくりを進めるうえでの「市が目指そうとするまちの開発デザイン」であり、9つのプロジェクトで構成することとしています。

各プロジェクトは相互に補完し合い、相乗効果を生み出し、諸課題の解決に努め、市全体としての発展につなげていきます。

現在、プロジェクトごとに部局横断的なチームを組織し、未来羅針盤図の策定作業とともに、施策の実現に必要な事業の立案、企業団体等との連携に向けた協議等を進めています。

3 今後の展開

・未来羅針盤図については、以下日程で改めて説明を予定しています。

11月16日：市議会全員協議会

11月17～24日の平日：市政懇談会（5箇所）

11月22日：広報おうしゅう11月号にて特集記事を掲載

・市総合計画実施計画ローリング及び来年度当初予算編成の作業では、未来羅針盤プロジェクト実現のための予算として「未来投資枠」を確保しています。未来羅針盤プロジェクト事業の選定を進め、具現化に向けた取組を加速していきます。

1 直面する課題と取組の決意

(1) 未来を見据えた戦略プラン ②地域医療奥州市モデル

定例記者会見資料 令和5年10月11日 健康こども部健康増進課

1 現状と課題

公立病院の経営改善や周産期医療への対応、へき地医療の提供などの課題に対応するため、令和5年6月に地域医療の方向性を示す「地域医療奥州市モデル」を策定しました。

策定経過で市民や専門家からご意見をいただき、「医師の確保対策」「地域における公立病院の役割分担」「医療と介護の連携による包括ケアの構築」については、市の取り組むべき重点項目だと考えています。これらを踏まえ、新医療センター（仮称）の役割や機能を具体的に検討する必要があります。

2 施策の進捗状況

- ・へき地医療の提供においては、衣川地区へのモバイルクリニック（オンライン診療）の導入を進めており、現在、システム開発、医療機器の選定作業を行っています。
- ・周産期サポート事業においては、産後ケア事業の宿泊ケアを6月から再開するとともに利用料の無料化を実現しており、8月からは日帰りケアの受け入れを拡充しています。
- ・9月に地域医療奥州市モデルプロジェクト部会を開催し、医療・介護・福祉・保健が一体となったチームにおいて、具体的なプロジェクト推進に向けた協議を始めています。

- ・10月6日には新医療センター整備に向けて、公募市民や利用者支援団体等で構成する検討懇話会を開催し意見交換を行っています。なお、その模様をYouTube(奥州市公式チャンネル)で配信しています。

3 今後の展開

- ・11月8日、11日：新医療センター整備に係る市民の意見を聴く会（会場:水沢地区センター、8日18:30～、11日10:00～）
- ・11月下旬：第2回地域医療懇話会にて公立病院経営強化プラン（案）及び新医療センター整備基本構想(案)を説明
- ・1月中旬：モバイルクリニック出発式（衣川診療所）

また、令和6年度以降の予算編成において、地域医療奥州市モデルが目指す「ネットワーク型地域医療」の構築のための具体的な事業を提案していくこととしています。

1 直面する課題と取組の決意

(1) 未来を見据えた戦略プラン ③メイプル再生

定例記者会見資料 令和5年10月11日 商工観光部商業観光課

1 現状と課題

メイプルは現在、地権者等と連携し、物権抹消・所有権移転手続を順次進めています。建物に係る手続を9月下旬に実行したため、10月1日から市直営での管理が始まりました。当面は、地下1階に入居している公的機関等の事業運営が維持されるよう、暫定的な管理を行います。

今後は、施設を活用したまちの賑わい創出に向け、設備改修や管理運営をどのように行うかが課題となります。

2 施策の進捗状況

メイプルは、奥州市未来羅針盤図の「(仮称)水沢市街地エリアプロジェクト」における核施設のひとつですが、今後の活用にあたって民間事業者との連携(PPP)や資金調達(PFI)を目指し、サウンディング調査(官民対話)を行うこととしました。

今後は国土交通省事業の活用や市独自のサウンディング調査を進めて実現可能な事業計画の構築を目指します。

3 今後の展開

10月1日 メイプル管理開始(市直営)

10月～ サウンディング調査



1 直面する課題と取組の決意

(2) 新型コロナウイルス感染症への対応

定例記者会見資料 令和5年10月11日 健康こども部健康増進課

1 現状と課題

新型コロナウイルス感染症は、5月に5類へ見直しとなり、感染対策の判断が個人に委ねられ、自宅療養のあり方や医療費の自己負担、感染者の把握方法などが変更されました。奥州保健所管内では、5月以降、1週間当たりの患者数が10人前後で推移していましたが、7月中旬から急激に増加し、8月末には62人と感染がピークとなりました。その後、患者数は減少に転じています。市では、感染が拡大した際は市ホームページで最新の患者数などの情報を発信し、基本的感染対策を呼びかけるなど、注意喚起に努めています。

ワクチン接種については、特例臨時接種が今年度末まで延期されたため、今年度の接種費用は無料です。ただし、来年度以降は、目的や対象者などの接種プログラムの検討、定期接種として実施する場合のワクチン費用及び自己負担額等が課題となります。

2 施策の進捗状況

今年度の新型コロナワクチン接種は、高齢者などの重症化リスクの高い者を対象に「令和5年春開始接種」を、全ての市民を対象に「令和5年秋開始接種」をそれぞれ1回実施します。

3 今後の展開

今後も、国、県からの新型コロナウイルス感染症に関して必要な情報を収集し市民へ周知するほか、必要に応じて国、県と連携し対策を実施してまいります。また、今後のワクチン接種については、来年度以降の安定的な制度の下での接種に向けた国の動向に注視してまいります。

項目	令和5年春開始接種	令和5年秋開始接種
実施期間	令和5年5月8日～9月19日	令和5年9月20日～令和6年3月31日
使用ワクチン	オミクロン株対応2価ワクチン	オミクロン株XBB.1.5対応1価ワクチン
使用ワクチン（メーカー）	ファイザー社及びモデルナ社	※9月のみファイザー社を使用し、10月以降は次のとおり振分けます。 ファイザー社：民間病院で使用 モデルナ社：公立病院で使用
対象者	65歳以上の高齢者及び基礎疾患がある方	追加接種可能な全ての市民
接種費用及び接種回数	無料で1回接種可能	無料で1回接種可能
接種方法	市内の医療機関での個別接種	
接種率	約75%（65歳以上）	未確定

医療提供体制については、国において令和6年4月から確保病床に依らない通常医療体制への完全移行を予定しています。

1 直面する課題と取組の決意

(3) 財政健全化の推進による財政基盤の確立

定例記者会見資料 令和5年10月11日 財務部財政課

(単位：百万円)

1 現状と課題

財政健全化については、令和3年度から5年度までを重点取組期間として、事務事業経費の削減、補助金・負担金の整理合理化など6つの重点項目を掲げて取り組んでいます。

財政健全化の取組以降、単年度黒字決算を経て、財政調整基金残高は想定を超えて上積みすることができ、懸念された危機的状況は回避できています。一方で財政調整基金を取り崩さなければ当初予算を組めない状況が続いており、引き続き収支均衡を目指す必要があります。

2 施策の進捗状況

重点取組期間の2年目である令和4年度は、見込んでいた効果額9億6,900万円に対し、実績額は8億6,600万円となりました。(次表のとおり)

目標額に届かなかった取組項目もある中で、市民、関係団体等の理解と協力をいただいた結果、取組全般としては目標額に近づけることができたと考えており、今年度についても効率的な予算執行に努めるなど取組を継続しています。

令和5年度末の財政調整基金見込は、補正予算10号時点で59.3億円、財政計画では72.3億円で予算ベースでは13億円の乖離がありますが、令和3、4年度の状況を鑑みれば、これまで通り財政健全化の取組を続けることで、決算では概ね計画値に近い数値になると見込んでいます。

区分		令和3年度		令和4年度		令和5年度
		目標額	実績額	目標額	実績額	目標額
①事務事業経費の削減	経常	160	165	160	374	160
	政策	450	358 ※(400)	550	270 ※(436)	550
②補助金・負担金の整理合理化		24	29	29	21	29
③公共施設の整理合理化		0	51	57	86	140
④職員人件費の抑制		50	56	50	7	50
⑤使用料と減免基準の見直し		109	19	19	19	19
⑥市有財産の売却・利活用		93	73	104	89	100
合 計		886	751 ※(793)	969	866 ※(1,032)	1,048

※ () 内は、歳入増減に伴い実績額も連動する「ふるさと応援寄附事業」を除外した数値。

3 今後の展開

今後も令和8年度までの計画期間である第2次行政経営改革プランに基づき、財政健全化に向けた取組を着実に実行することを前提とし、効果的で効率的な行政経営が行えるよう、持続可能な財政基盤の確立を図っていきます。

2 重点施策や新たな施策

(1) 企業誘致とそれに伴う住環境整備

定例記者会見資料 令和5年10月11日 政策企画部政策企画課

1 現状と課題

江刺フロンティアパークⅡの立地予定企業をはじめとした市内製造業において、令和9年度までに2,000人以上の雇用増が見込まれています。入居可能な賃貸物件が不足傾向にある状況を踏まえ、有効な住宅施策や、工業団地付近道路の渋滞緩和策を早期に検討、着手していく必要があります。

また、市内の整備済工業団地はすべて完売しており、分譲可能な未整備区画は広表工業団地約6haと胆沢東部工業団地約1haのみとなっています。需要に応えるべく、広表工業団地の分譲開始、新たな工業団地整備に向けた検討が求められています。

2 施策の進捗状況

有効な住宅施策等について検討するため、江刺フロンティアパークⅡ立地予定企業を中心に、通勤時における道路環境、各企業の駐車場事情などと併せ、従業員に対する住環境整備に対する考えなどを企業訪問によるヒアリング等により、調査を行いました。

分 類	回答集計		
① 雇用者	懸念している 6社	回答なし 36社	
② 住環境	確保予定あり 7社	確保予定なし 35社	
③ 道路渋滞	懸念している 23社	回答なし 19社	
④ 駐車場	不足見込み 6社	懸念している 3社	言及なし 33社
⑤ 公共交通	利用見込みあり 8社	利用見込みなし 34社	

※調査対象56企業のうち、回答があった企業は41企業(有効回答42回答)であり、回答内容は大きく5つに分類して集計しています。

3 今後の展開

ヒアリング調査からは、集合住宅等の賃貸物件について、一定程度のまとまった需要があるものと推測されますが、江刺地域における集合住宅の建設状況や近隣自治体の住宅事情なども考慮し、市宅建協会からの聞き取りなどの情報収集にあたりながら、有効な住宅施策について（仮称）江刺市街地エリアプロジェクトで更に検討を進めてまいります。

このほか、今後の住宅施策のひとつとして、定住促進を目的とした、戸建住宅の建設に対する補助制度の構築や、宅地開発支援などの手法についても、検討を進めてまいります。

企業誘致に向けた工業団地整備については、令和7年度の方譲開始を目指して、現在、広表工業団地約6ヘクタールについて測量設計を行っています。また、新たな工業団地整備に向け、市内の複数箇所を適地調査しており、今年度中に調査をまとめることとしています。

2 重点施策や新たな施策

(2) デジタル行政サービスの推進

定例記者会見資料 令和5年10月11日 総務部行革デジタル戦略課

1 現状と課題

行政のデジタル化の遅れへの対処や、「新たな日常」の原動力として、制度や組織の在り方等をデジタル化に合わせて変革していく、社会全体のデジタル・トランスフォーメーション（DX）が求められています。当市では、奥州市DX全体方針に基づき取り組みを進めています。

①行政サービスについて、デジタル技術やデータを活用して、市民の利便性を向上させる。

②デジタル技術やAI等の活用により業務効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上につなげていく。

2 施策の進捗状況

①市民サービスの向上

- ・スマート窓口（書かない窓口）本格運用開始（4月）
- ・行政手続のオンライン化拡充（随時）
職員採用試験の受験申込など
通称オンライン化条例の制定（9月）
- ・オンライン面談窓口運用開始（10月）
総合支所からオンラインで本庁担当課と面談する仕組み
- ・公共施設予約管理システムの導入（3月に向け構築中）

②業務効率化

- ・RPA（パソコン操作の自動化）追加導入決定（9月）
- ・生成AI活用検討（8～9月 一部実証実験）

③デジタルデバйд対策

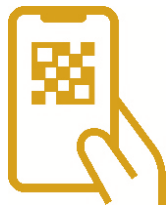
- ・高齢者デジタルサポーター育成講習会
- ・スマホ講習会
すべての地区センターで開催する計画
全66回のうち42回実施済、315人参加

④体制構築

- ・デジタル人材の登用開始（5月）
日本情報通信（株）早川浩子氏
DX全体方針の見直し、BPR（業務改革）などを担当
- ・奥州市DX全体方針の見直し
各部署にDX・BPRヒアリング（6月）、改訂（年度内）

3 今後の展開

- ・利用者目線を第一に考え、市民サービスの向上の目指し、行政手続のオンライン化の拡充などにより、**将来的にはできるだけ市役所に来なくても良い状態を目指す。**
- ・マイナンバーカードの交付率が75%を超えた状況を踏まえて、**マイナンバーカードの利活用策を検討**する。
- ・スマートフォンを持たない人への対応も含めたデジタル弱者への対応（**デジタルデバйд対策の拡充**）の検討が必要。
- ・**BPR（業務改革）の実行**やデジタル技術の活用、また、情報システム標準化に合わせた業務の見直しによる業務効率化などにより、職員は職員でなければできない業務に役割をシフトする。



現在オンライン申請できる手続【48手続】

①子育て関係（15手続）

児童手当の現況届など

②介護関係（11手続）

要介護・要支援認定の申請など

③被災者支援関係（6手続）

罹災証明書の発行申請など

④選挙関係（2手続）

若年層の投票立会人公募申請

不在者投票等の投票用紙等の請求

6月から開始

⑤引越し関係（7手続）

転入転出ワンストップサービス、スマート窓口関係

⑥水道関係（5手続）

水道の使用開始など

⑦図書館関係（1手続）

図書館資料の予約

⑧職員採用関係（1手続）

職員採用試験（後期）の受験申込

8月から開始

今後の展開

- ・文化・スポーツ施設等の利用予約…令和6年3月から開始
- ・道路占用許可申請、粗大ごみ収集の申込、犬の登録申請など…年度内開始を検討
- ・押印を見直す手続の順次オンライン化

「スマート窓口」いわゆる“書かない窓口”

市民が書類に記入することなく転出・転入・転居の手続が可能
システム連携で職員の入力負担を軽減



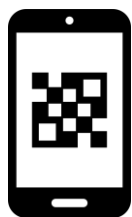
紙の申請書と比べ

79%の人が
「良かった」と回答

※スマート窓口利用者アンケートより

自宅など

インターネット事前申請



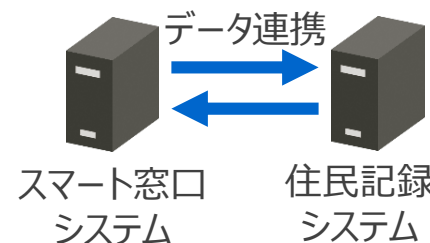
QRコード生成

市役所窓口

入力・審査



シームレス連携



本庁舎や総合支所窓口にて
職員がヒアリングしながら
申請書作成を支援



QRコードで事前申請情報取込

さらに転出証明書をOCR読込で入力補助



交付物、各種申請書・
案内書を交付



高齢者デジタルサポーターの育成

地域内でデジタルに不慣れな高齢者に対し、高齢者と同じ目線でスマートフォンの操作方法等の説明や相談に応じるサポーターを育成するもの。

【高齢者デジタルサポーター育成講習会の開催】

R4 衣川地域で開催

16人育成

R5 全市展開

水沢、江刺、前沢、胆沢地域で開催し、
68人育成する計画

※水沢地域は8～9月に実施済で9人育成



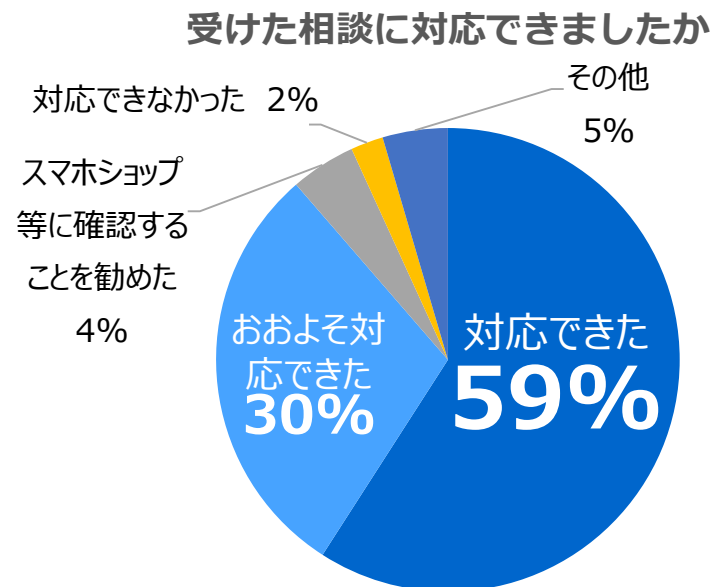
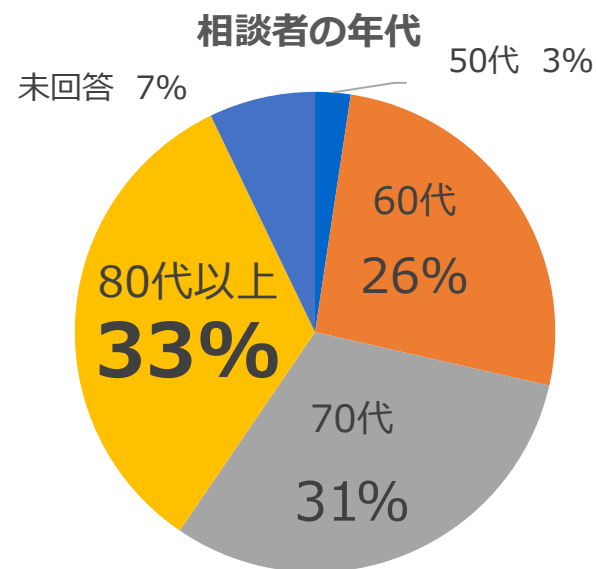
デジタル・デバイド対策の状況 2/2

14

高齢者デジタルサポーターの活動実績

(回)

地区	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	計
北股	1	3	2	3	2	3	2	0	16
南股	2	2	0	0	0	0	0	0	4
衣川	1	0	0	0	0	0	0	0	1
衣里	3	8	1	0	1	2	1	2	18
計	7	13	3	3	3	5	3	2	39



高齢者デジタルサポーターの活動後のアンケートより



証明書コンビニ交付サービス

① サービス内容

マイナンバーカード及び住基カードにより、コンビニ等店舗のマルチコピー機から各種証明書の交付が受けられるもの

② サービスを利用できる店舗等

セブン-イレブン、ローソン、ファミリーマート、ミニストップ、イオン、ユニバースなど全国128事業者

③ 交付できる証明書の種類

住民票の写し、印鑑登録証明書、所得証明書、市県民税課税所得証明書、市県民税課税（非課税）証明書、納税証明書

▼証明書コンビニ交付サービス2023年度交付部数



▼証明書コンビニ交付部数とマイナンバーカード交付枚数

